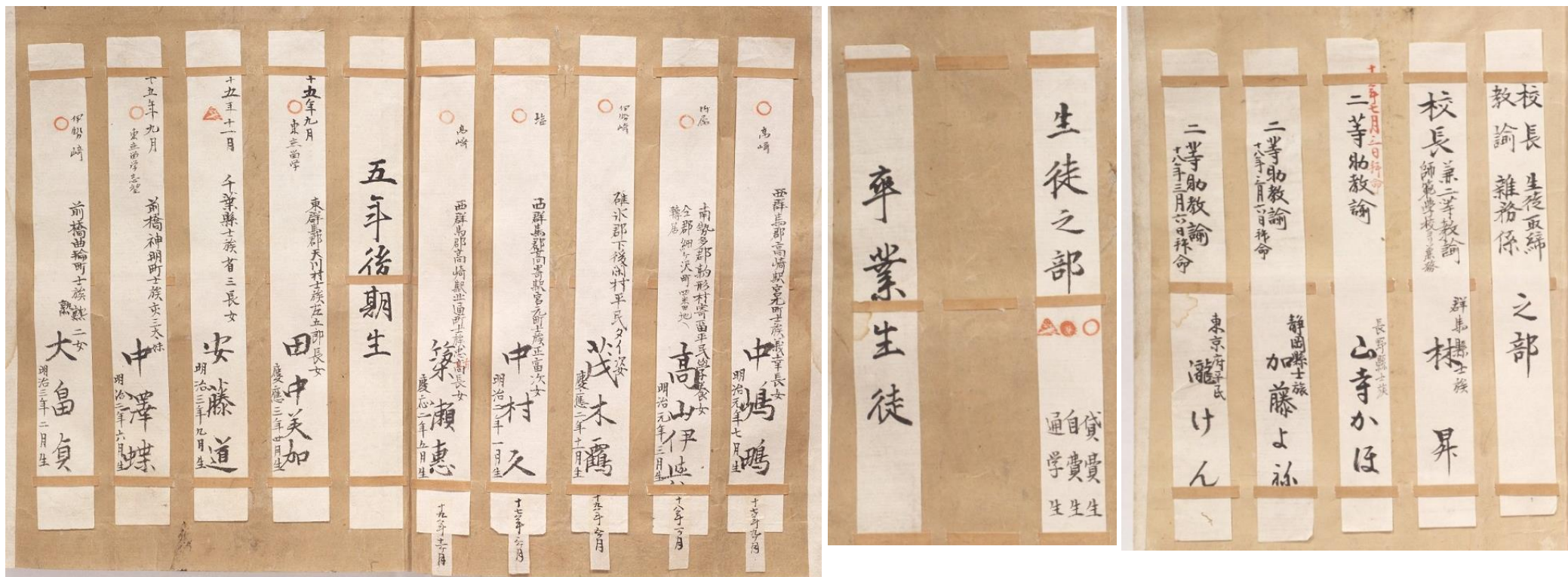




17 群馬県女学校職員・生徒姓名簿

明治19年(1886)

職員11名、生徒71名の名簿です。寄宿舍に入舎の生徒は45名、通学の生徒は26名。大部分が県内の名望家又は士族の子女で、県外の生徒は数名。明治19年3月に廃校となりましたが、群馬県教育史人物編によると、明治21年まで寄付金により存続したようです。

明治32年に群馬県高等女学校(県立高崎女子高校)が設立されるまで県内に女子が中等教育を受けられる公立学校はありませんでした。

群馬県行政文書「群馬県女学校職員・生徒姓名簿」

(A0384A0G 326)